

「サクライザーと一緒に地球温暖化防止を考えよう！」 地球温暖化防止に向けた講演・クイズ大会を開催



山下喜幸理事長

山梨県冷凍空調設備事業協同組合(山下喜幸理事長)と一般社団法人山梨県冷凍空調設備保安協会(石川勝秀理事長)は、3月22日にアイメッセ山梨で行われた中小企業組合まつりで、「美しい地球を未来の子どもたちにinやまなし～オゾン層保護・地球温暖化防止に向けて～」と題した基調講演、パネルディスカッション、クイズ大会を実施した。

この事業は、一般県民に対して業界で取り組んで

いるオゾン層保護・地球温暖化防止に向けた活動への理解と協力を得ることを目的として実施しており、今回で5回目となる。

今回は、「改正フロン法の概要」、「オゾン層保護・地球温暖化防止」などの組合・協会の活動について、未来を担う子ども達にも解りやすく知ってもらうため、講演会に加えてテレビ等でも人気の「甲州戦記サクライザー」と地球温暖化防止について考えるクイズ大会を行い、多数の親子が参加した。

パネルディスカッションやクイズにも参加したNPO法人気候ネットワーク桃井貴子氏によると、昨年2月14日～15日の観測史上1位を記録した本県の大雪もフロン等を含む温室効果ガスの影響による「温暖化」がひとつの要因とされている。



大人気 サクライザーを交えたクイズ大会

組合・協会では、「フロン法改正により本年4月より冷凍・空調ユーザーに対しても管理・フロン類の排出抑制義務が決まった。しかし、地球温暖化防止のための取組みは、フロンを取り扱う事業者だけではなく、消費者や行政等のフロン漏洩に関する監視の目が必要。もっと一般の人々に協力してもらえるよう啓蒙普及活動を続けていきたい。」と語っている。